

中部防災推進ネットワーク第9回勉強会

東日本大震災における
大船渡商工会議所の対応と課題

大船渡商工会議所 齊藤 光夫

大船渡市の位置 (岩手県 三陸沿岸南部)



津波災害についての意識および備え

○昭和35年（1960）チリ地震津波での最大の被災地

⇒「地震＝津波」

○大船渡市ではチリ地震津波後、大船渡港湾口へ防波堤、港の周囲に防潮堤を設置

○大船渡市で行う津波避難訓練に職員全員参加

○事務所は1階ではなく2階（5.5mの津波に対応）

○避難意識は高かったが、被災後の備えに対する意識は低かった

被災の状況（大船渡市）

地震発生	平成23年3月11日(金) 14：46（マグニチュード9.0）
第1波	0.2m（14：54）
第2波～	8.0m以上（15：18）、11.8m（時間不明）
人的被害	死者・行方不明者 419人
建物被害	5,590件 （全壊2,791、大規模半壊430、半壊717、一部損壊1,652）
ライフラインの状況	電気・水道・電話・携帯・インターネット断絶
当会議所の被害	職員24名全員無事、会館建物全壊、職員自宅被害 4件 車両被害：公用車1台、職員17台











大船渡商工会議所の対応(初動)

《3/11(金)》

- 職員、テナントに対し避難指示
- 職員の安否確認
- 支所の被災状況の確認
- 今後の避難場所、
情報伝達方法、連絡網の確認

《3/12(土)～3/21(月)》

- 職員の安否確認
- 会館、被災街区の確認
- 県連、県、市、
税務署等との情報交換
- 会議所会館の片付け作業

大船渡商工会議所の対応(相談受付体制)

《3/22(火)～4/4(月)》(安定所の会議室、野外テント)

○相談体制づくり検討打合せ

○職員を作業ごとにチーム編成

①離職票発行作業

②会館内部片付け作業、仮事務所設営作業

③関係諸機関からの支援メニュー等情報収集作業

④事業者相談対応作業 ⑤庶務作業

▶4/4 地元ショッピングセンター内(約70坪)に仮事務所オープン





被災して困ったこと

○情報通信インフラの途絶(以下の情報収集、伝達が困難)

- ▶ ライフライン(水道、電気、道路交通網、燃料、郵便)の被害・復旧状況
- ▶ 飲料水、食料品、物資の支援供給場所・時間
- ▶ 会員事業所の安否

○電気、水道、ガソリン、ガスの供給断絶、不足

- ▶ 事務機器の使用不可(電気断絶)
- ▶ 出勤が困難(車両流失、ガソリン不足)

○事務用品(PC、電卓、筆記用具等)の不足

○各種資料、データの喪失

- ▶ 定款、各種規約、会員名簿、給与データ、会計データ、総会資料
- ▶ 会員事業所の財務データ、申告データ

被災に備えてすべきこと

○生活者として

- ▶ 飲料水、食料品の備蓄(想定被災による、3～10日分)

○商工会議所として

- ▶ 各種資料データのバックアップ保全
- ▶ 情報収集方法(モバイルルーター、タブレットなど)の機器確保
- ▶ ガソリンの備蓄、発電機
- ▶ 他商工会議所と連携した、災害時の支援協定
(事務商品、事務機器等の調達)

ご清聴ありがとうございました

